

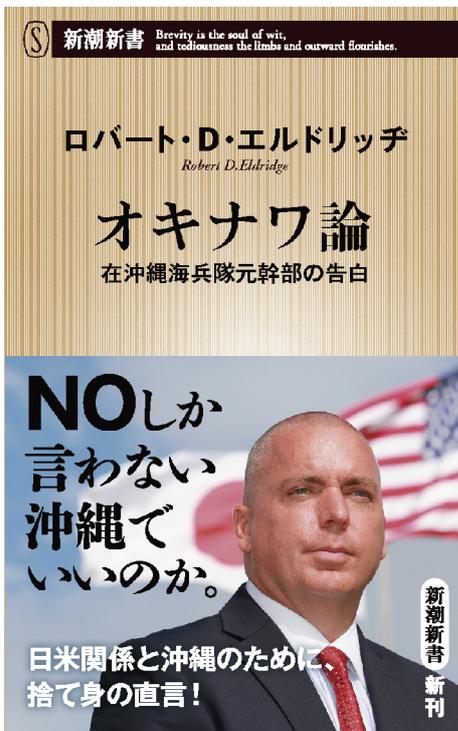
オキナワ論

在沖縄海兵隊元幹部の告白

ロバート・D・エルドリッチ 著

1月16日発売 税別定価：700円 ISBN:978-4-10-610651-4

誤解だらけの基地問題、トモダチ作戦の舞台裏、メディアの偏向報道——政治的思惑と感情論が支配する空気に抗い、日・米・沖のあるべき姿を探究し続けた20年。歴史研究者として、海兵隊の政治顧問として情熱を傾けてきた著者が「沖縄問題」の虚実を解き明かす！



【内容紹介】

- 第一章 国立大学から海兵隊へ
- 第二章 米軍基地再編の失敗と政権交代
- 第三章 トモダチ作戦と防災協力の展開
- 第四章 沖縄のメディアと活動家との闘い
- 第五章 沖縄問題の解決へ向けて

「沖縄問題の起源」とは何か／「天皇メッセージ」の本当の意味／「普天間は危険」「辺野古がベスト」の虚構／学会への失望、政治家の不勉強／阪神淡路大震災での原体験／3・11とトモダチ作戦の展開／「ちむぐくる」なき地元紙の姿勢／民主主義を破壊する偏向報道／「海兵隊司令部の良心」と呼ばれて／脱「NOKINAWA」は可能か／沖縄の地政学的重要性／中国の沖縄分断策／「青い瞳のサムライ」として……目次より抜粋

【著者紹介】

Robert D. Eldridge 1968年、米国ニュージャージー州生まれ。リンチバーグ大学国際関係学部卒。99年に神戸大学法学研究科博士課程後期課程修了、政治学博士。同年「サンフランシスコ講和条約と沖縄の処理——『潜在主権』をめぐる吉田・ダレスの『交渉』」で読売論壇新人賞最優秀賞受賞。2001年より大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授。09年9月より在沖縄海兵隊政務外交部次長に就任、東日本大震災でのトモダチ作戦の企画立案に携わる。15年5月、基地監視カメラ映像を不適切に公開したとして同職解任。著書に『沖縄問題の起源』（サントリー学芸賞、アジア・太平洋賞特別賞）、『尖閣問題の起源』（名古屋大学出版会）など。

*全国の書店にて、お買いもとめください。書店によっては、在庫のない場合や取扱いのない場合があります。お問い合わせ先は「新潮社・読者係」tel 03-3266-5111 / fax 03-3266-5118 まで。ネットでの購入につきましては、新潮社のホームページ (<http://www.shinchosha.co.jp/>) をご参照ください。